

# 神高SSH通信2023

## 天才!! 曾我部博士来校

数学博士 京都大学理学部大学院理学研究科数学教室助教

曾我部太郎先生(本校65回生)が来校され数学に関するお話を聞く機会をつくりました。理系の人多くは大学進学後も「数学」をtoolとして学習します。しかし数学科はさにあらず。数学を研究しようと思っている人から、数学好きの諸君、ぜひ、曾我部博士の数学の世界を体験しませんか?数学好き集まれ!!

傘下申込書を総合理学・探究部まで

在学中から天才といわれた曾我部先生

数学科へ進んだ経緯と“数学の魅力”とは

### 数学好き集まれ

- ・実施日 12月22日(金) 11:30~12:30 終業式後です
- ・場所 視聴覚室 参加希望者は下の申込書に記入し、総合理学探究部に提出

#### 曾我部先生からのメッセージ 数学の魅力とは

数学の魅力については色々な側面があると思います。私が高校生くらいの時は教科書や参考書などの問題を解くことで「新しい事を知ってなんか問題が解けるようになって楽しい」と言うことから数学が好きになりました。課題研究も始めはある意味人工的な問題「勝手に与えられた、いくつかの点を全て囲む最小の円を書くにはどうしたらいいか」でした。転機になったのは当時同じ班にいた友達の研究でした。素朴な問題意識から基本的な公理系のようなものを自分でいくつか設定し、公理系の式を組み合わせることで不思議な結論を導いていて、このあたりから試験問題を解くとは違う理論を作っていく数学の楽しさに気づいていきました。面白い問題が見つかる嬉しいうのが研究する上で強く感じることです。ある先生に、「本を読んで何か勉強した時に、何でこういう事を考えるのか、とか、なんか自分にはしっくりこないからもっとピンとくる同値な主張にいい変えよう、とか、自分でなんか問題作ってみようか、とかそういう“遊び”をいれていく事の延長にあるのが(というかもうこれも)研究だよ」と言われたことがありますが、この気持ちは凄く大事だなと今でも思います。

#### 先生のご研究

私は作用素環論という分野を研究しています。数学的な対象の集まりに群、環、体というものがありますが、作用素環は作用素という数学的対象の集まり(環)のことです。作用素がどんなものなのかについてなんとなくお話しができればと思います。

切り取り

希望者は12月19日(火)までに総合理学探究部に提出

京都大学 曾我部先生の「数学」の特別講義に参加します

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 番号 \_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_